

サッカーで活躍 福島に貢献が夢

郡山市・青木 竣

(高校生 16)

僕が東京を離れて寮生活を選び、福島の高校に入ったことには理由があります。

一つは中学一年の時に見た全国高校サッカー選手権で、尚志高が東日本大震災一年後の大会にもかわらず三位に入賞したのに感動したこと。僕

も多くの人を感動させた
と思ったのです。

二つ目は母の実家が福島県にあり、震災前までは畑でコメや野菜を作ることを楽しみにしていた祖父母のため、全国大会で活躍し、その姿を見てもらって元気づけたいと思ったことです。この他にも、母の実家で幼いころから虫を捕って自然に触れ合うことができた福島が好きだという理由もあります。

サッカーのコートジボワール代表ドログバ選手は、母国で内戦が起きている時代、初めてワールドカップ出場を決めた試合の後に「武器を置いて選挙をしよう」と呼び掛

けました。その結果、内戦は一時停戦となりました。サッカーにはそれほど大きな力があるのだと知りました。僕もサッカーで大好きな福島の役に立ちたいと思います。